



☆ 3月8日大畑センター最終処分場見学記を報告します。

2023年3月8日（水）、多治見市大畑センター最終処分場を見学しました。私たちまち美化推進協議会では、定例会と美化推進重点地域のパトロールを月に1回、それぞれ実施しています。

今回は定例会を大畑センター見学に振り替えて実施しました。大畑センターには全国的にも数少ない新管理型最終処分場が稼働しているとのことでその見学が主たる目的でした。

大畑センター到着後は、加藤所長始めスタッフの挨拶・紹介を受け、ビデオと資料にて新管理型最終処分場の構造や、センターの運営状況の説明を受けました。新管理型最終処分場は、三の倉センター（ごみ焼却場）で発生する飛灰処理固形物を専用に埋め立てる施設であり、飛灰に含まれる亜鉛・鉛等の有害物質を、未来永劫、埋立地から漏らさないために管理された最終処分場です。「水を出さない・入れない」をコンセプトに、コンクリートや遮水鋼板、ウレタン、アスファルト舗装などで幾重にも施工され、前段のビデオも立地に至る過程や、処分場の構造・工法の説明など、如何に環境に配慮して建設されたかを物語る内容でした。

説明を受けた後は、車で新管理型最終処分場へ移動し、現地説明を受けました。

全長：142m、幅：30m、深さ：8.5～9.5mの処分場は、正に屋内スケートリンクを思い浮かばせるような施設でした。平成22年から稼働し、既に3分の1程が埋め立てられていますが、最近の埋立処分量（約1,700t／年）から換算すると

残余容量は約21年程度とのことでした。埋立完了後の施設の活用方法や、代替埋立施設の検討など、ごみ処分の課題は永遠に続きますが、このような



新管理型最終処分場の見学の様子

立派な施設が大畑センターにあったことを初めて知り、先ずは目から鱗が落ちました。

新管理型最終処分場見学の後には、安定型最終処分場（陶器くずなど、風雨にさらされても有害物質が出ないものを埋め立てる処分場）や、空き缶（スチール缶・アルミ缶）自動分別圧縮機、白色発泡トレイ集荷／出荷場などを見学し、大畑センター見学を終了しました。安定型最終処分場では、破碎ごみから金属などの再資源化物を細かく分離し埋め立てていました。白色発泡トレイでは「コバエ一匹の付着」も見逃さないほど入念にチェックし出荷されていました。

多治見市の家庭ごみは「23分別+1区分」と細かく分別され定着しています。これはとても素晴らしいことだと思いますが、更に欲をいえば、回収されたごみ・資源が、その先どのように処理されているかを知れば、ごみ・リサイクルの出し方も又変わってくるでしょう。大畑センター、三の倉センターなどの社会見学が更に拡大することを望みます。

最後になりますが、業務の傍ら、親切にご対応頂きました加藤センター所長始めスタッフの皆様、お世話になりました。【高木】



空き缶自動分別圧縮機の見学

☆ 藤前干潟見学ツアーに参加して

多治見市の記念橋から 50km の下流に藤前干潟は有ります。水鳥の生息地、渡り鳥の中継地としてラムサール条約に登録されている干潟です。登録地周辺の漂着ゴミ問題も、毎年問題になっています。

これらを自分の目で確認すべく、土岐川～庄内川左岸道路の行程で 2月22日特定非営利活動法人 岐阜環境カウンセラー協議会が主催された藤前干潟見学ツアーに出かけました。

名古屋市の小田井遊水地（西区）、稲永ビジターセンター（港区）の道すがらでは、驚く程のポイ捨てゴミがあり、河川敷にはビニールや支柱等を使用している無断農地転用が多々有りました。これらのごみや使用している道具は、大雨、風等で流され海洋汚染につながるの、強い憤りを感じました。

稲永ビジターセンターで 50年間の藤前干潟を守る会の活動をうかがいました。解説をされるスタッフの方に 50年続けられた動機はと質問すると

『 人（沢山の方々が都合の良い時参加）

知（知力を活かし、計画、実行、データ等）



財(必要経費の確保)

を柱に自分で出来る事を無理なくやる』との事でした。

とは言え、先駆者の努力は図りしれないです。

藤前活動センターでは水鳥のエサの捕獲を観察しました。活動センターでは1年を通して様々イベントを実施しているそうです。

ツアーに参加して改めて、継続は力なりと実感しました。

【中村】

☆会長就任ご挨拶

このたび「多治見市まち美化推進協議会」の大嶽元則会長が退任されたため、令和5年度から後任として会長に就任しました落合^{うごう}宇光です。

当協議会は、市民有志によるボランティア団体です。多治見のまち(町&街)から放置ごみをなくすために、行政と一緒に活動しています。

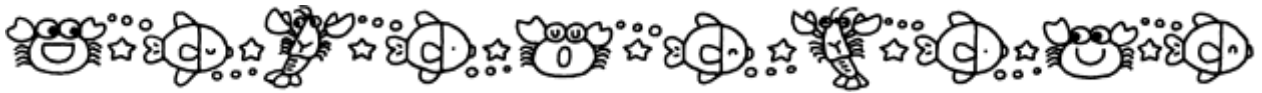
多治見のまちは以前に比べると少きれいになったかな、と感じることもありますが、市内周辺部や主要道路の中央分離帯などの放置ごみの多さを目にすると、まだまだの感があります。

私たちは、市民への啓発とパトロールをこれまでと同様に地道に続けていきます。ただ、私たちは少数高齢者集団でありますので、仲間が欲しいです。このため、活動予定はメディア、ホームページなどで情報発信をしますので、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。幸い最近の美化パトロールにおいては何人かの参加があり、ありがたく思います。

また、今後の活動をサポートしてもらえる関連団体、機関などにも連携、協力を呼びかけていきます。

「多治見をごみの散らばっていないきれいなまちにする条例」(通称美化条例)の遵守を通じて、一步一步多治見をきれいなまちにしていきたいと思っていますのでご協力をお願いします。

【落合】



まち美化推進協議会の今後の活動予定

- 7月 9日(日)美化パトロール(多治見駅周辺)
7月 12日(水)定例会(市役所本庁舎内)
7月 30日(日)市制記念花火大会 ポイ捨て防止啓発活動
8月 9日(水)定例会(市役所本庁舎内)
9月 10日(日)美化パトロール(土岐川・国長橋付近)
9月 13日(水)定例会(市役所本庁舎内)
10月 11日(水)犬のしつけ方教室(総合体育館) 詳細は、「9月号広報たじみ」に掲載します。
※1 原則、定例会は第2水曜日、美化パトロールは第2日曜日に実施します。
※2 美化パトロール時、火ばさみ、ごみ袋は用意します。



多治見市まち美化推進協議会

多治見市まち美化推進協議会のホームページを作成しました。
まちピカ通信のバックナンバー、予定が掲載されています。
お気軽にアクセスしてください。



QRコードはこちら ⇒

定例会、美化パトロールに参加していただける方を募集中です。
どなたでも参加できます。
ご興味のある方は、集合時間、場所等をご案内します。
下記のまち美化推進協議会事務局(環境課)まで、ご連絡ください。

まちピカ通信 第68号 2023年6月発行
(次回2023年9月発行)

多治見市まち美化推進協議会 会長 落合宇光

《会員》 磯村美代子・大嶽元則・亀井芳樹・高木勝美・中村京子・西迫静隆
水野美恵子・渡邊月光

【まち美化推進協議会事務局：多治見市役所環境課廃棄物対策グループ担当 犬塚】

☎ 22-1580 (直通) 📠 22-1186 ✉ kankyo@city.tajimi.lg.jp